

PCR「適切、迅速に」

松波総合
病院理事長 県議会会委で参考意見



PCR検査について「適切な人に速やかに行う必要がある」と訴える松波英寿理事長＝県庁

県議会の厚生環境委員会は31日、委員協議会を県庁で開いた。新型コロナウイルス感染症のPCR検査について、羽島郡医師会会長を務める松波総合病院

(羽島郡笠松町)の松波英寿理事長が参考人として出席し、「適切な人に速やかに行うことが必要」と訴えた。検査が関心の高いテーマ

であることから、委員の要望で参考人として招致した。松波理事長はPCR検査と抗原検査の違いなどを説明し、「検査には限界があり、多くの検査には偽陽性や偽陰性が存在するので、結果が必ずしも正しい訳でもない。なぜ偽陽性などが起こるのかを理解することが大切」と指摘。その上で「全ての国民や県民に検査を行っても意味がない。適切な人に対し速やかに検査を行える体制が必要で、有病者が陽性となる確率をより上げることができるとし、早期の収束に向けて「PCR検査などに基づいて、陽性者の入院や施

設への収容が重要。国や県、保健所は適切な判断で対応

している」と分析した。

(湯浅裕作)